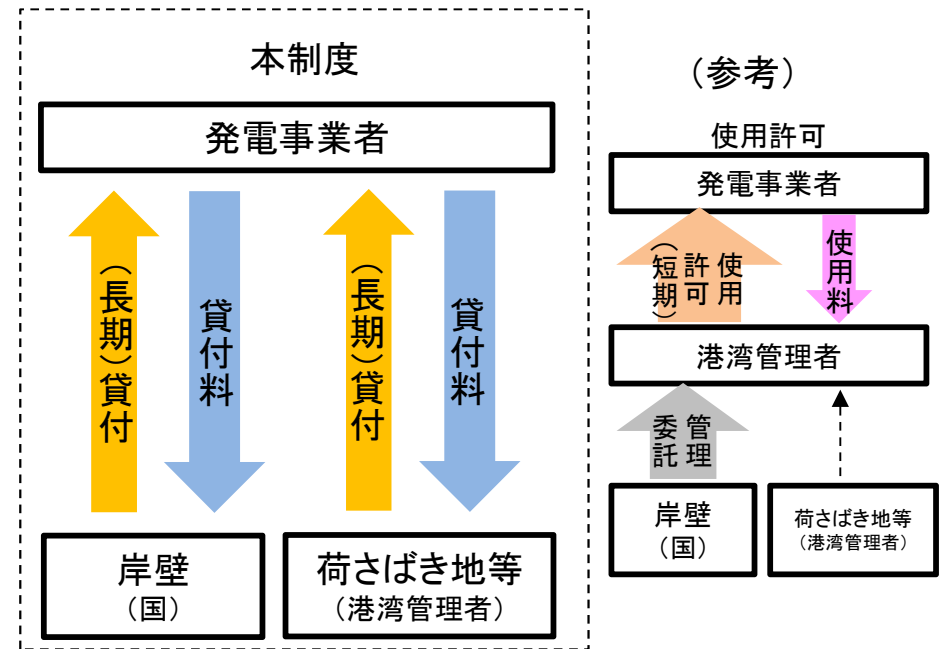
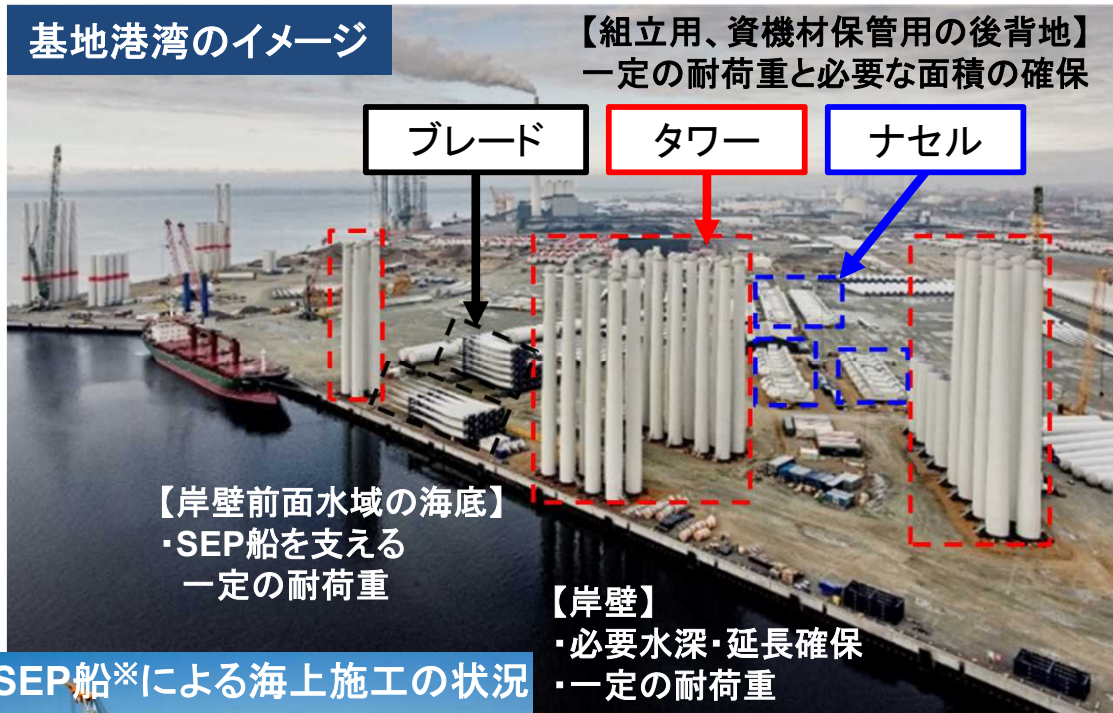


海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)制度の概要

- 改正港湾法(令和2年2月施行)より、国土交通大臣が、海洋再生可能エネルギー発電設備等取扱埠頭(洋上風力発電設備の設置及び維持管理に利用される埠頭)を有する港湾を基地港湾として指定し、発電事業者に当該港湾の同埠頭を長期間(最大30年間)貸し付ける制度を創設。
- 埠頭は複数の発電事業者へ貸付けられるため、国土交通大臣は複数の借受者の利用調整を実施。
- 令和2年9月、能代港、秋田港、鹿島港及び北九州港を基地港湾に初めて指定。

基地港湾のイメージ

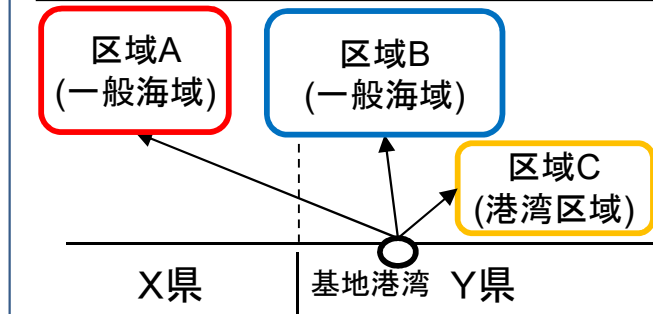


○SEP船※による海上施工の状況



※SEPはSelf-Elevating Platformの略
自己昇降式作業船

○複数事業者による埠頭利用のイメージ



※再エネ特措法に基づく洋上風力発電の交付期間・調達期間は最長20年

国が発電事業者A、B、Cの埠頭利用を調整



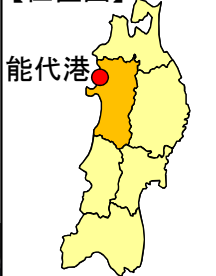
海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)の概要

○能代港

【事業の概要】

- ・ 整備施設 : 岸壁(水深10m(暫定))、(地耐力強化)、泊地(水深10m(暫定))
- ・ 事業期間 : 令和元年度～令和5年度

【位置図】



【大森地区】



○秋田港

【事業の概要】

- ・ 整備施設 : 岸壁(地耐力強化)
- ・ 事業期間 : 令和元年度～令和2年度

【貸付の概要】

- ・ 貸付期間 : 令和3年4月9日～令和28年12月1日
- ・ 独占排他的使用期間 : 令和3年4月9日～令和5年12月31日(風車建設)
令和24年12月1日～令和28年12月1日(風車撤去・解体)
- ・ 賃借人 : 秋田洋上風力発電株式会社

【飯島地区】



○鹿島港

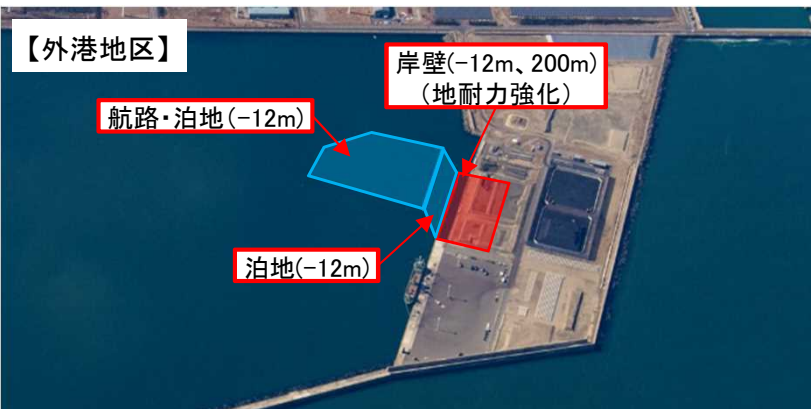
【事業の概要】

- ・ 整備施設 : 岸壁(水深12m)、(地耐力強化)、航路・泊地(水深12m)、泊地(水深12m)
- ・ 事業期間 : 令和2年度～令和5年度

【位置図】



【外港地区】

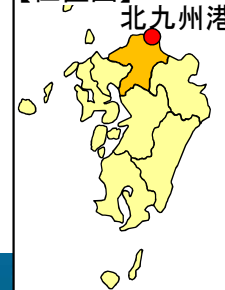


○北九州港

【事業の概要】

- ・ 整備施設 : 岸壁(水深10m(暫定))、(地耐力強化)、泊地(水深10m(暫定))、航路・泊地(水深9m(暫定))、ふ頭用地
- ・ 事業期間 : 令和2年度～令和6年度

【位置図】



【響灘地区】

